

行政減量・効率化有識者会議

政策金融改革ワーキングチーム（第1回）議事概要

1. 日時

平成19年6月18日（月）16:00～18:00

2. 場所

永田町合同庁舎2階第2共用会議室

3. 出席者

渡辺喜美国・地方行政改革担当大臣、林芳正内閣府副大臣

〔委員・専門委員〕

翁百合（主査）、櫻谷隆夫、多胡秀人、富田俊基、深尾光洋、松田千恵子の各委員、
島根祐一専門委員

〔行政減量効率化有識者会議〕

茂木友三郎座長

〔事務局〕

福井良次行政改革推進本部事務局長、大藤俊行政改革推進本部事務局次長、
鈴木正徳行政改革推進本部事務局審議官 ほか

〔経済産業省〕

加藤文彦中小企業庁次長、寺澤達也中小企業庁金融課長、迎商工中金理事 ほか

〔財務省〕

香川俊介官房参事官、中原広大臣官房政策金融課長、多賀政策投資銀行理事 ほか

〔総務省〕

椎川忍官房審議官、丹下甲一自治財政局公営企業課長、木村公営公庫理事 ほか

4. 主な議題

（1）新体制移行までの主なスケジュールの紹介

行革事務局、中小企業庁、財務省、総務省から説明

（2）有識者会議におけるこれまでの主な指摘事項及び国会における主な議論の紹介

行革事務局、中小企業庁、財務省、総務省から説明

（3）自由討議

5. 議事の経過

開会

茂木行政減量・効率化有識者会議座長、渡辺国・地方行政改革担当大臣、林内閣府副大臣及び翁政策金融改革ワーキングチーム主査からあいさつがあった。

新体制移行までの主なスケジュールの紹介及び有識者会議におけるこれまでの主な指摘事項並びに国会における主な議論の紹介

資料に沿って事務局、中小企業庁、財務省、総務省からの説明がそれぞれ行われた後、委員から述べられた主な指摘は以下のとおり。

(1) 日本政策金融公庫関係

- ・ 一元的効率的な資金調達によって、具体的にどのように調達コストの低減が図られるのか。
- ・ 特殊会社化されるとはいえ、国会による統制が行われるため、政策遂行の手段として経営者に裁量が委ねられる部分は限定されるのではないか。
- ・ 日本政策金融公庫の行う政策金融に対する財政措置のあり方はどのような考え方となっているのか。国民負担の観点からも、十分に検討する必要があるのではないか。
- ・ 中小企業貸出について、特別貸付についても、民業補完の観点から、見直した上で承継されるのか。

(2) 商工組合中央金庫関係

- ・ 商工中金について、特別準備金の償還基準を明確にしていく必要があるのではないか。
- ・ 特殊会社化される際の株価の算定はどのように行っていくのか。

(3) 日本政策投資銀行関係

- ・ 政策投資銀行について、完全民営化後の業態を見据えて移行期間中にビジネスモデルを確立して行くことが必要なのではないか。

(4) 地方公営企業等金融機構関係

- ・ 地方公営企業等金融機構について、開示請求への対応を含め情報公開のあり方をいかに考えるか。
- ・ 地方公共団体、公営企業の会計基準を確立するべきではないか。

自由討議（今後の進め方に関する委員からの意見）

ワーキングチームの今後の進め方に関して、委員から述べられた主な意見は以下のとおり。

- ・ 地方公営企業等金融機構に関し、有識者会議での指摘事項と国会での議論の関係など、しっかりといかない部分があるので、今後ともしっかりと検討していく必要がある。
- ・ 日本政策金融公庫に関し、業績評価と経営責任の関係についてはしっかりと議論する必要があるのではないか。
- ・ 政策金融なので、資本市場のスタンダードから遠くなる部分があることは理解するが、他方で市場を使う部分もあるので、色分けして検討していくべきではないか。
- ・ 日本政策金融公庫に統合される各機関の信用リスクの計測は、民間金融機関による

計測とどのような相違があり、また、機関ごとのレベルにどのくらい差があるのか。リスク管理の実態や把握の方法について、早めに教えてほしい。

閉会

< 文責：行政改革推進本部事務局（速報のため事後修正の可能性あり） >

今回会議の資料は、行革事務局ホームページの次の箇所に掲載しています。

<http://www.gyokaku.go.jp/genryokourituka/dai19/siryou.html>